

あきる野市と羽村市の共同開催による「大島・子ども体験塾」を、8月7日から10日までの現地活動3泊4日と事前・事後活動(6月29日、7月13日、8月23日)3日間の計7日間で実施しました。

市内に在住・在学する小学5・6年生及び中学生を対象に56人(あきる野市28人・羽村市28人)が参加したこの体験塾は、地域や年齢が異なる仲間との交流を通じて、社会に貢献できる人材を育成することを目的に実施しています。



を肌で感じる貴重な経験ができました。急な変更により、長時間の船旅となりましたが、共に過ごす時間が増えた子どもたちは、さらに友情を深め、到着後のお別れが一段と名残惜しくなった様子でした。

現地活動を終えた子どもたちは、8月23日に秋川ふれあいセンターで実施した事後活動で再会しました。

この活動では、現地活動で学んだことを班で協力して新聞にまとめ、大勢の保護者が見守る中、発表を行いました。

この体験塾を通じて、人間関係の大切さを学んだ子どもたちが、将来、地域の未来を担う存在として活躍してくれることを願っています。



東京都功労者表彰

10月1日、あきる野市文化財保護審議会委員の溝口重郎氏が東京都の功労者表彰(文化功労)を受賞されました。溝口氏は40年以上に渡り文化財保護審議会委員を務め、また市内の教育史や古文書も研究され、地域での囃子の習得・伝承にも貢献し、それぞれの分野での後継者育成にも寄与されています。これらの活動が評価され、この度、都知事から表彰されました。

▼**青少年委員**

青少年教育の振興のため、市内の青少年健全育成団体から推薦され、教育委員会の委嘱を受けた16人が本市の青少年の育成活動を支援しています。事業内容により「文化部会」「主張部会」「研修部会」のいずれかに所属し、各種事業を行っています。

・**文化部会の活動**

毎年7月に開催している「おとなが手本のあきる野市あいさつ標語カルタ大会」の企画・運営を行います。

今年度は、小学1・2・3年生



青少年委員の活動を紹介します!

の部、小学4・5・6年生の部、フリースタイルの部に加え、個人の部を新たに設け、各部門で白熱した試合が行われました。

・**主張部会の活動**

あきる野市教育の日に開催している「中学生の主張大会」の企画・運営を行います。毎年1000件を超える応募作品の中から選ばれた、市内在住・在学の中学生が、日常生活を通じて考えていること、願いや希望などを発表します。

・**研修部会の活動**

青少年委員自身のスキルアップを図るため、各種研修活動を企画・実施します。

他市町村の青少年施設の視察や講習会の受講など毎年異なる研修を企画し、活動への糧としています。

あきる野市教育の日
第30回
未来を築く青少年健全育成あきる野市大会

教育委員会では、市民の教育への関心と理解を深め、次代を担う子どもたちの教育に関する取組を市全体で推進するため、毎年12月第1土曜日を「教育の日」と定めています。

今年度は、市制施行30周年記念事業として、12月6日にS&D秋川キララホールにおいて「中学生の主張大会」と「小学生人権メッセージ発表」を実施します。中学生は日頃感じていることや願いを、小学生は人権について考えていることを発表しますので、ぜひ、お越しください。



中学生海外派遣団が国際姉妹都市で交流

10月31日から11月7日まで、市内中学生8人が国際姉妹都市・米国マールボロウ市を訪問しています。ホームステイや学校での交流活動を通じて現地の生活を体験するほか、日本文化の紹介を行うなど、両市の文化を学び合い、交流を深めます。



版画家が市内で活動中!

「アーティスト・イン・レジデンス事業」

今年で31回目を迎えるこの事業は、平成5年から始まり、国内外の版画家を戸倉にあるアーティストスタジオ五日市に招へいし、国籍を超えた創作活動の機会を提供することにより、芸術や異文化への相互理解を深めることを目的に実施しています。

アーティストは国内から2人、海外から1人を招へいます。9月1日から11月30日までの3か月間滞在し、共同生活の中でアーティスト同士の交流を深めながら、日々、版画制作に取り組んでいます。

これまでに、市事業の絵画コンクールへの審査協力、児童館でのワークショップ、オープンスタジオ等を行いました。



古賀慧道さん「Sea outside the window」

日比野絵美さん「Floor」

Cristian - Aurel Opris さん「Transylvania - The Land Beyond the Forest」